

大海原にて最期を遂げた英霊が言葉や愛用品に込めた「心の声」を聴く。



海鳴りのかなた

波間より現れる戦中の記憶

令和五年 遊就館特別展

SPECIAL EXHIBITION 2023

Beyond the Rumbling of the Sea

Wartime Memories Emerging from the Waves

題字：永山玳潤 写真：広田勇介

[特別展] 海鳴りのかなた ~波間より現れる戦中の記憶~

後期展示

令和5年1月1日(日)~12月3日(日)

Second Period :

January 1 (SUN) - December 3 (SUN), 2023

— 靖國神社 Yasukuni Jinja —



[休館日] 令和5年6月26日(月)~28日(水) Closed / June 26(MON)-28(WED), 2023

[開館時間] 午前9時~午後4時30分(入館は閉館の30分前まで) Hours / 9:00~16:30 (Last Admission at 16:00)

[拝観料] ●大人 300円 ●大学生 200円 ●高校生 100円 ●中学生以下及び崇敬奉賛会会員無料

海鳴りのかなた 波間より現れる戦中の記憶

令和五年 遊就館特別展

大海原にて 最期を遂げた英霊が 言葉や愛用品に込めた 「心の声」を聴く。

本年の特別展は、昨年の前期展示に引き続き、海で最期を遂げた英霊の愛用品や手記の展示を行います。また、沈没した戦艦や輸送船のいまを伝える写真や映像、国内外の海底に眠る沈没艦船の分布地図を展示し、現在における海の慰霊について考えます。



映像で読む「英霊の日記」(字幕音声付映像・3~5分)

戦地の兵士や日常生活を送る学生など様々な立場の英霊8柱の日記を、映像と音声で紹介。任務に就いた時の気持ちや、初めて訓練で空を飛んだ日のことなど、当時の若者の言葉が、見たまま、感じたままに記されています。



沈みゆく戦艦「武蔵」の甲板で艦長から手渡されたシャープペンシル

昭和19年10月、フィリピン・レイテ島で沈没した戦艦「武蔵」の猪口敏平艦長は、乗員を退艦させた後、艦と運命を共にしました。このシャープペンシルは、その直前に遺書と共に副官に手渡されたものです。海で最期を遂げた猪口艦長と、それを受け継いだ戦友たちの想いがこめられています。



沈没艦船のいま (水中写真家 戸村裕行氏の写真を中心に)

現在も海底に眠る実際の沈没艦船の写真や映像を展示しています。また、海底から引き揚げられた実際の日用品や船の部品も展示。当時の様子をより詳しくうかがい知ることができます。



戦場を実際に見た技術者・画家たちが描いた「海」

海での戦いの様子を伝える絵画は、戦中・戦後を通じて多くの人の手によって描かれました。中でも、戦いの現場を実際に見た画家や技術者が描いた作品は、戦争の現実を観る者に強く訴えかけてきます。



遊就館
YUSHUKAN
MUSEUM

靖國神社 遊就館

〒102-8246 東京都千代田区九段北3-1-1
TEL.03-3261-8326 FAX.03-3261-0996
<https://www.yasukuni.or.jp/>



- J R ●総武線・中央線…「市ヶ谷駅」「飯田橋駅」からいずれも徒歩10分
地下鉄 ●東西線・半蔵門線・都営新宿線…「九段下」から徒歩10分
●東西線・有楽町線・都営大江戸線…「飯田橋駅」から徒歩10分
●南北線・有楽町線・都営新宿線…「市ヶ谷駅」から徒歩10分

